森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績																				税導入の効果
						森林整備関係									人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				
						森林所有者への意向確認		間伐等実施面積			路網整備			（ケ）その他	（コ）事業体等への助成		（サ）研修、講習、求人イベント等		（シ）その他	（ス）研修や普及啓発イベント等		（セ）その他	（ソ）公共施設等の木材利用			（タ）その他	（チ）その他	
		(A)＋(B)	(A)うち令和3年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）		（ア）森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	（イ）アンケート等による意向確認実施面積(ha)	（ウ）間伐（ha）	（エ）除伐（ha）	（オ）その他（作業種、実績値を記載）	（カ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（キ）森林作業道の開設延長(m)	（ク）その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)			
私有林整備	私有林等整備事業	10,858		10,858	地域森林計画の対象とする森林において、森林経営計画の作成者等が施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ計画的に行う間伐等の森林施業及び作業道の開設等に対し補助する。（保育間伐、枝打ち、被害木整理68%、下刈り3%、作業道整備1,500円/m）			62.29		枝打ち5.71ha、下刈435.45ha				森林管理システム整備、検査業務機器整備														【ワンフレーズ】 ・税活用により新たに６２．２９haの間伐と５．７１haの枝打ちを実施したほか、成林に最も重要な下刈に対しても支援し私有林の森林整備の促進のため取り組んだ。 ・林業後継者の確保と育成が課題となっていることから、子供たちを対象に林業現場見学会を開催したほか、道立北の森づくり専門学院の企業説明会に参加し、地域林業の現状や魅力を発信できた。 ・新生児を出産した方を対象に八雲産森林認証材を活用した木製品を配布し、林業に対する理解と木材利用の普及を図った。 【詳細】 ・私有林等整備事業の新設により森林整備事業の促進に取り組み、造林作業員の人手不足が進む中、前年度比95.8%の事業実績となった。 ・将来の林業従事者の確保を目指し、高性能林業機械を用いた伐採現場で「林業現場見学会」を開催し、親子など16名が参加した。見学会では伐倒作業の見学やﾊｰﾍﾞｽﾀｰｸﾞﾗｯﾌﾟﾙの体験搭乗、巣箱づくりを行ったほか、製材工場を見学し、参加した子供や親からは「楽しかった」「林業に興味を持った」などの声が上がっていた。また、道立北の森づくり専門学院の４０名の学生が参加した企業説明会に出席し、地域林業の現状や魅力を発信した。 ・八雲産森林認証材で作成したｽｷﾞﾌｫﾄﾌﾚｰﾑを120個製作し、新生児を出産した方に贈り、木材の利用推進や森林・林業に対する普及PRを行った。 ・残額は令和４年度以降の私有林整備事業等に使用するため、基金に積み立てた。
担い手確保	担い手対策事業	149		149	道立北の森づくり専門学院の企業説明会に参加し、地域林業の説明や魅力を発信した。また、北海道林業木材産業人材育成支援協議会の取組に賛同し、同校を支援した。												1	40									
担い手確保	木育事業	314		314	将来の林業の担い手を確保するため、幼児や小学生を対象に林業現場見学会を開催し、林業の魅力を発信した。												1	16									
木材・普及啓発関係	木育事業	238		238	新生児への木製品贈呈																					八雲町産スギフォトフレーム贈呈
基金積立	八雲町森林環境基金積立	37,390	37,390		令和4年度以降に実施する私有林整備事業等に備えた積立																					